

内容をご熟読ください



Owner's Guide 取扱説明書

純正キーレスでセキュリティをON。

KEYLESS

アンサーバックリモコンが付属したハイブリッドモデル

自動車盗難防止装置

純正キーレスエントリー連動モデル

LED
303V

アンサーバック仕様

アンサーバックリモコンを標準搭載
離れた場所から異常を確認

「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI

この度は HORNET をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書に記した注意事項をよくお読みいただき、安全かつ正しい方法でより長くご愛用くださるようお願い致します。
本書は無くさないよう、大切に保管しておいてください。

- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気付きの点がありましたら、お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替え致します。
- 本書に掲載されている内容は 2011 年 1 月 1 日現在のものです。
- 本書の著作権は加藤電機株式会社にあります。
- 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。

HORNET® は加藤電機株式会社の登録商標です。
KATO-DENKI ドアトリガー® クリックトーン® ダイアグノスティック™ 等、本書記載の呼称は加藤電機株式会社の商標または登録商標です。

お取り扱い上の注意	5
安全上の注意	6
使用上の注意	7
製品の説明	9
製品の説明	9
HORNET303V とは	9
本書に出てくる主な用語の解説	9
梱包物をご確認ください	10
303V の梱包物	10
HORNET303V の特長	11
リモコンに関する機能	11
純正キーレスエントリー連動	11
特定小電力リモコン(1 個標準)	11
ハイセキュリティ™ 解除	11
基本的なリモコンの使い方(純正キーレスエントリー) ...	12
純正キーレスエントリーのボタンについて	12
HORNET を作動させる	12
HORNET を解除する	13
パニックモード(強制サイレン)	14
ハイセキュリティ解除™	15
基本的なリモコンの使い方(HORNET リモコン)	16
リモコンのボタンについて	16
主な操作	16
リモコンの液晶表示について	17
リモコンの各操作方法	19
HORNET を作動させる(システム ON)	19
通信エラー	20
HORNET を解除する(システム OFF)	21
パニックモード(強制サイレン)	22
リモコン電池の交換方法	23
電池残量表示	23
警報の異常通知	24
警告の異常通知	26

リモコンの設定について	27
リモコンのピープ音／パイプレーションの設定	27
リモコンのバックライトの設定	27
異常通知の設定	28
操作する車両の設定	28
基本的な操作の仕方	29
パレーモード	29
ロングタームイベントヒストリー	30
ダイアグノスティック™ 機能	32
ゾーン ID 一覧	33
各センサーの特長	34
インスタントトリガー【ゾーン1】	34
ドアトリガー®【ゾーン3】	34
ダブルガードショックセンサー：504D【ゾーン4】	34
イグニッション ON センサー【ゾーン5】	35
機能設定	36
機能設定一覧表	36
その他の機能・特長	37
セレクトابلサイレン	37
ライトフラッシュ	37
パワーセーバーモード	37
レジューム機能	37
ソフトチャージ	37
NPC 機能(迷惑防止回路)	38
トラブルシューティング	39
故障かな？と思ったら	39
アフターサービスについて	40
アフターサービスについて	40
保証書について	40
修理を依頼されるときは	40
お問い合わせ先・製品仕様	41

保証規定	42
-------------------	-----------

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。



危険

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか、物的損害のみの発生が想定される事項。



禁止

禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対にやめください。



ヒント

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒント等を説明。また、アクセサリを扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることでアクセサリの寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒント等を説明。



強制・制約・指示等を表す記号。

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

安全上の注意



警告

- エンジンルームにサイレンを取り付けたままエンジン洗浄をしないでください。ショートにより、感電や機器が故障する恐れがあります。
- リモコンはお子様手の届かないところに保管してください。システムがOFF（解除）してしまったり、誤って飲み込むなど事故の恐れがあります。
- HORNET 製品およびそのオプション類の取り付けには正しい車両電装の知識が必要となります。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術力のある販売店にて取り付けを行ってください。また、車両電装の知識不足による誤った配線方法により車両の破損、故障等が発生しても当社では責任を一切負いかねます。知識のない方が取り付けを行うと車両、HORNET の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ恐れがあります。
- 本製品は、故意に分解および改造変更は絶対にしないでください。製品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する恐れがあります。また、分解および改造変更を行った製品の保証は一切しておりません。
- 本製品は高音量のサイレンを使用しています。人やペットが近くにいる時に本製品を作動させないでください。聴覚障害をおこす恐れがあります。



危険

- DC12V 車両専用
24V 車両には装着できません。
- 国産車限定
日本国内メーカーに対応しています。
平行輸入車、外国車への取り付けサポートは一切行っておりません。



使用上の注意

(1) リモコンの取り扱いに関する注意

! 注意

- リモコンは落とししたり固いものにぶつける等の強い衝撃を与えないでください。
- 水がかかるような保管方法や使用方法をしないでください。
また、高温になる場所や湿気の多い場所に保管しないでください。
- 持ち運びの際にはリモコンの操作ボタンが押されないように十分注意してください。
- リモコンの画面に電池残量が表示されます。
電池残量が減ってきた場合、早めに電池交換をしてください。
- リモコンの電池は消耗品のため、ご購入後の使用できる期間に差があります。また、保証対象外となりますので無償交換等は一切致しておりませんのであらかじめご了承ください。電池が消耗している場合には新しい電池（単4形電池：1個）をお求めくださいますようお願い申し上げます。
- 電波塔が近くにある等、電波障害がある環境の場合、リモコンの飛距離が著しく短くなる場合があります。



! 警告

- 本製品は電波法に基づく特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けております。分解及び改造変更は絶対に行わないでください。不法改造して使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 技術基準適合証明ラベルは絶対に剥がさないでください。電波法により罰せられることがあります。
- 本製品は日本国内専用であり、外国では使用できません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.



(2) 使用方法についての注意

! 注意

- 本製品は、車両盗難、車上狙い等を抑制するものであり、完全に防止するものではありません。
- テストの際はガラスやボディ等が破損しないように十分注意してください。
当社では万一破損等が発生しても責任は一切負いかねます。
- 本製品は低消費電力設計がされておりますが、長期の連続使用や環境、車両の整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。1週間以上車両をご使用されない場合等は特にご注意ください。
- 本製品の警告、警報は、防犯上非常に効果的な大音量で発報するため騒音などにならないよう、周囲の環境を考慮した上で適切にご使用ください。
- 何らかの理由で、リモコンのボタンが押された場合には、走行中であってもパニックモードにより警報（サイレン音）が鳴りだす場合がありますが、あわてずにリモコンによりサイレンを止めてください。
- 本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
- 本製品は防水構造ではないため内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。



! 必ずお読みください

- 本製品同梱の2段階衝撃センサーは取り付け位置や車両の剛性等によって感度が大きく変わります。
- 当社では製品の検査、修理時の代品貸し出し等は一切行っておりません。また、検査、修理時に発生した工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- 車種により本製品の接続が不可能な場合があります。
- 本製品の作動の有無にかかわらず、車両盗難、車上ねらい等が発生しても当社は責任を一切負いかねますのでご了承ください。

製品の説明

HORNET303Vとは

HORNET303Vは、製品を取り付けされた車両に異常が発生した場合に、大音量のサイレンにて不審者を威嚇したり周囲に異常を知らせるカーセキュリティ製品です。各種センサーにて車上荒しを効果的に抑制します。セキュリティの操作は車両純正のキーレスエントリーリモコン、HORNET リモコンで行います。さらに車両の異常を HORNET リモコンに通知できます(見通し最大500m)。



本書に出てくる主な用語の解説

警告／警報

HORNET が車両の異常を検出した場合に、サイレンを鳴らすなどして威嚇することを示します。

警告：

サイレンからの音 : ビッビッビ……

スモールライトの点滅 : 2回

警報：

サイレンからの音 : ビービービー……!!

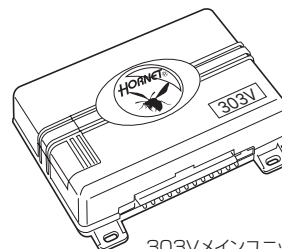
スモールライトの点滅 : サイレン鳴動中

確認音

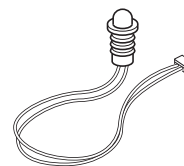
HORNET の各操作を行うたびに鳴るサイレンからの音を示します。また、システムのON(作動)／OFF(解除)時に鳴る確認音をとくにクリックトーン(動作確認音)と呼びます。音の鳴り方は操作の内容によって異なりますので、各案内書きをご覧ください。

303V の梱包物

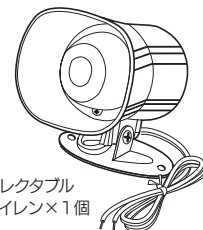
(取り付けの前に必ずご確認ください)



303Vメインユニット×1台



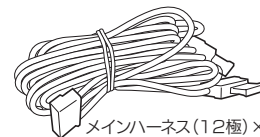
動作確認LED×1個



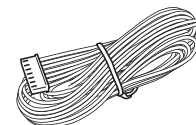
セレクトابلサイレン×1個



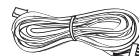
専用リモコン×1個



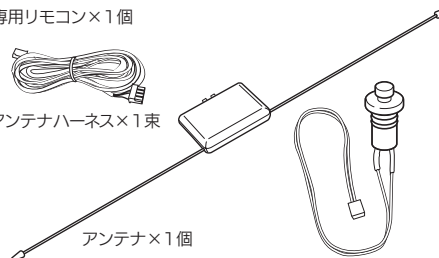
メインハーネス(12極)×1束



外部出力ハーネス(7極)×1束

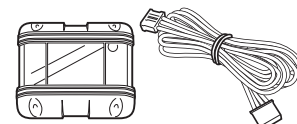


アンテナハーネス×1束



アンテナ×1個

プログラムスイッチ×1個



ダブルガードショックセンサー(504D)及びハーネス×各1個

その他

取扱説明書×1冊、取付説明書×1冊、HORNETステッカー×1シート、両面テープ×1枚、結束バンド(長)×3本、結束バンド(短)×5本、ボルト(M6×10)×2本、ダイオード×5本、お客様登録カード×1枚、全国自動車用品工業会自主基準登録証×1枚、確認チェックシート×1枚

※ステッカーはフロントガラスには貼らないでください。
側面ガラスに貼る場合は、ステッカー全体がガラスの開閉口の下縁から100mm以下、かつガラス開口部の後縁から125mm以内に
おさまるように貼ってください。また、ステッカーの再発行は致しません。
※本製品の仕様およびデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

リモコンに関する機能

純正キーレスエントリー連動

HORNET303V は、車両メーカー純正のキーレスエントリーリモコンによるドアロック／アンロックに連動して作動します。

HORNET のシステムを作動させるには「キーレスエントリーリモコンでドアをロックする」だけ、システムを解除するには「キーレスエントリーリモコンでドアをアンロックする」だけ、と非常に簡単に操作することができます。

キーレスエントリーリモコンのボタンが「ドアのロックとアンロックの両方を一つのボタンで操作」するものと、「ドアのロックとアンロックの操作は別々のボタンで操作」するもので操作方法や内容に違いが出てきます。



特定小電力リモコン(1個標準)

HORNET303V のリモコンは、標準で1個付属しています。リモコンによって、車両のセキュリティシステムを操作することができます。また、車両に異常があり HORNET が反応した場合は、リモコンに異常内容が通知され、車両から離れていても知ることができます(見通し最大500m)。

万一リモコンを紛失、盗難にあっても、無くしたリモコンの登録をすべて消去することができます。

新しいリモコンを登録することも可能ですので、安心してご利用いただけます(※)。

※リモコンのご購入、登録等に関しましては、必ず取り付けを行った販売店へお問い合わせください。

※電池消耗時には、市販のアルカリ単4電池(1個)をお買い求めご利用ください。

※リモコンの登録可能最大数は3台です。



ハイセキュリティ™ 解除

警報中にキーレスエントリーリモコンのボタン操作によって、ドアをアンロック(HORNET のシステムを解除)せずに、警報だけを止めることができます。これはドアがアンロックして、HORNET のシステムが解除されてしまわないよう安全性を保つための機能です。

※キーレスエントリーリモコンが、ロックボタンとアンロックボタンを共用している場合、キーレスエントリーリモコンからは使用できません。



純正キーレスエントリーのボタンについて

本製品の操作は、純正のキーレスエントリーリモコン(以下純正リモコン)によって行えます。

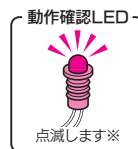
リモコンの種類によって操作方法や範囲が異なりますのでご注意ください。

HORNET を作動させる

！ご利用の前に

必ずドアロックの学習を行ってからご利用ください。

- 1 エンジン停止後、クルマから降り、すべてのドアを閉めます。
- 2 純正リモコンのロックボタンを1回押して、ドアをロックします。
- 3 “ビッ”と1回クリックトーン®と一緒にホーン(接続している場合)が鳴ってシステムが ON になったことを知らせます。



※システム作動中には、動作確認 LED が点滅を続けます。

※システムを ON にした際にクリックトーンが1回鳴った後、3秒後に再度鳴った場合には、システムを ON にした時に半ドアであったり、何らかのセンサーが反応したことをレポートしています。反応したゾーン(P.33)は動作確認 LED で確認してください。

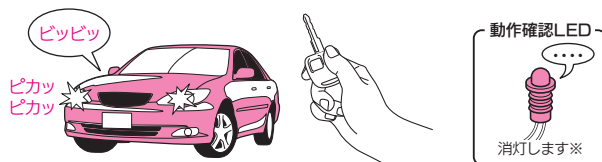
ヒント

機能設定(取付説明書参照)でクリックトーンを「OFF」に設定することでシステム ON / OFF 時の確認音を鳴らさなくすることができます。

ハザードランプを点滅した状態ではシステムを ON / OFF できない場合があります。

HORNET を解除する

- 1 システム作動中、純正リモコンのアンロックボタンを1回押してドアをアンロックしてください。
- 2 クリックトーン® と一緒にホーン(接続している場合)が2回“ピッピッ”と鳴ってシステムがOFFになったことを知らせます。



※システムをOFFにした際にクリックトーンが4回または5回鳴った場合には、システムがONの間に何らかのセンサーが反応したことをレポートしています。反応したゾーン(P.33)は動作確認LEDで確認してください。

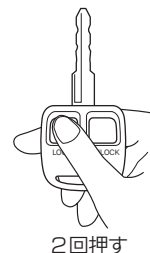
ヒント

- 機能設定(取付説明書参照)でクリックトーンを「OFF」に設定することでシステムON / OFF時の確認音を鳴らなくすることができます。
- ハザードランプを点滅した状態ではシステムをON / OFFできない場合があります。

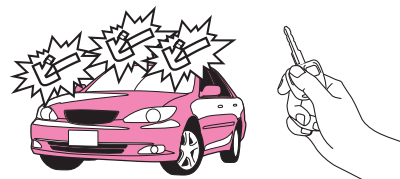
パニックモード(強制サイレン)

純正リモコン操作で警報を強制的に鳴らすことができます。緊急時や周囲に異常発生を知らせたい時などに便利です。※途中で警報を止めたい場合にはアンロックボタンを押してドアをアンロックしてください。※警報が止まりシステムがOFF状態になります。

- 1 純正リモコンのロックボタンを2回押します



- 2 強制的に警報を鳴らすことができます。



パニックモード

警報は設定した秒数鳴ります。(取付説明書参照)

※パニックモードによって最後まで警報が鳴りきった場合、システムはON状態となります。

※ロックボタンを押した時の動作が1回目と2回目で異なる車両では使用できません。

例1：車両のドアがロックしている状態で、純正リモコンのロックボタンを押した時にシステムがONにならない車両

例2：純正リモコンのロックボタンを1回目に押した時にはハザードが点滅するが、2回目は点滅しない車両

※ロックボタンとアンロックボタンが共用の純正リモコンの場合、使用できません。

ハイセキュリティ解除™

本製品ではハイセキュリティ解除™機能により、安全に HORNET が利用できます。警報が鳴っている最中にシステム OFF せずに、警報のみを止めることができます。HORNET 自身がシステム OFF にならないため、HORNET を再度システム ON する必要があります。

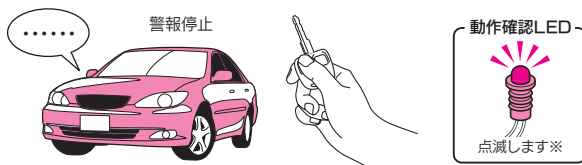
1 警報開始

システムが ON の時にセンサーが働くと警報が鳴り始めます。



2 ハイセキュリティ解除™

警報中にロックボタンを押すと警報のみが止まり引き続き ON 状態を続けます。



※何らかのセンサーが反応し、警報が鳴り始めると、動作確認 LED は反応したゾーンを示し始めます(P.33)が、ハイセキュリティ解除™を行うとメモリはリセットされ、通常の点滅に戻ります。
※ロックボタンとアンロックボタンが共用の純正リモコンでは使用できません。この場合、ハイセキュリティ解除にはならず、システムが OFF します。

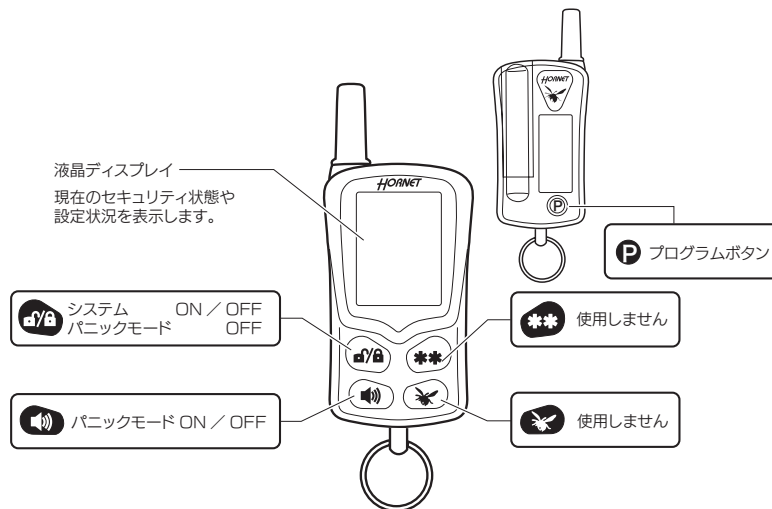
※ロックボタンを押した時の動作が1回目と2回目異なる車両では使用できません。

例1：車両のドアがロックしている状態で、純正リモコンのロックボタンを押した時にシステムが ON にならない車両

例2：純正リモコンのロックボタンを1回目に押した時にはハザードが点滅するが、2回目は点滅しない車両

リモコンのボタンについて

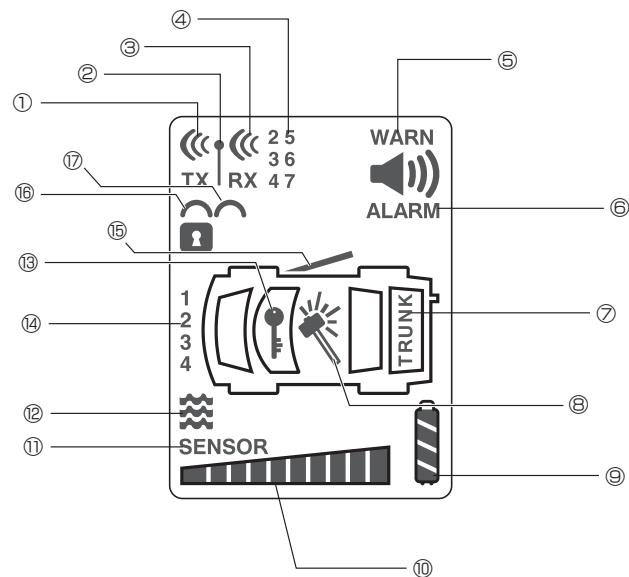
主な操作



⚠ 注意

リモコンの電池は消耗品のため、ご購入後の使用できる期間に差があります。また、保証対象外となりますので、無償交換等は一切致していません。電池が消耗している場合には、新しい電池をお求めくださいますようお願い申し上げます(市販アルカリ単4電池)。電池交換時期の目安は約1ヵ月(使用頻度等、ご使用の状況によって変わります)です。

リモコンの液晶表示について



①		リモコンから信号を送信している間、表示します。
②		リモコンが信号を受信できない場合、表示します。
③		リモコンが信号を受信している間、表示します。
④		ゾーン ID を表示します。
⑤		警告したときに表示します。
⑥		警報したときに表示します。
⑦		メインハーネスの青線に接続したオプションセンサーで警報したときに表示します。(インスタントトリガー)

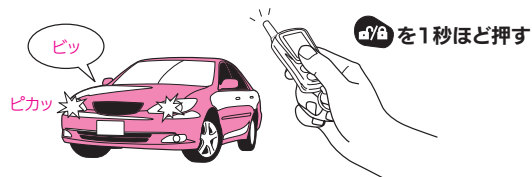
⑧		2段階衝撃センサーで警告や警報したときに表示します。
⑨		リモコンの電池残量を表示します。
⑩		リモコンから送信を行っている間、送信バーが増えていきます。
⑪		センサーで警告や警報したときに表示します。
⑫		リモコンのパイプレーション設定時に表示します。
⑬		イグニッション ON センサーで警報したときに表示します。
⑭		リモコンで操作可能な車両や、異常などを受信した車両の番号を表示します。
⑮		ドアトリガーで警報したときに表示します。
⑯		システム ON 中、表示します。
⑰		システム OFF 中、表示します。

リモコンの各操作方法

HORNET を作動させる(システム ON)

1 エンジン停止後、車から降り、すべてのドアを閉めます。

2 リモコンの  ボタンを1回(1秒ほど)押して、クリックトーン® が“ピッ”と1回鳴ってシステム ON します。

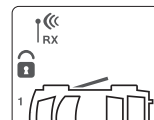


3 画面が以下のように変化し、送信、受信を行います。
送信が成功すると“ピッ”とリモコンから確認音が鳴り  アイコンが5回点滅します。



※システム ON した際にクリックトーン®が1回鳴った後、3秒後に再度鳴った場合には、システム ON した時に半ドアであったり、何らかのセンサーが反応したことをレポートしています。ドアが開いていないかなど確認してください。

※ダイアグノスティック™ 機能参照 (P.32)

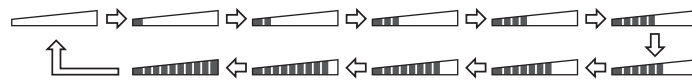


ドアが開いていた場合のリモコン画面の例：RX アイコンの表示と共に、ドアアイコンが5回点滅します。



ヒント

リモコンから送信を行っている間、送信バーが増えていきます。



リモコンはボタンを押している間送信し続けます。(最大約 30 秒)

通信エラー



注意

通信エラーがおこる場合(↑アイコンが3回点滅)、下記のような事例が考えられます。

- ・通信距離圏外で操作している。
- ・付近に電波塔や無線機などの強力な電波の発生源がある。
- ・HORNET の電源が入っていない。
- ・車両の純正キーレスリモコンとの距離が近い
- ・その他

付近で無線機器や他の特定小電力無線設備から同一周波数が出力されている場合、電波法の規定によりリモコンの操作は行えません(通信エラー表示は起こらず、各ボタンを操作したときに  アイコンが表示されません)。

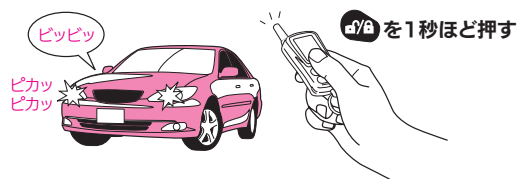
複数のリモコンを利用する場合には、HORNET を操作したリモコン以外のリモコンにも HORNET の状態を通知します。よって、最後の操作後、約20秒間リモコンで HORNET を操作することができない場合があります(通信エラー表示は起こらず、各ボタンを操作したときに  アイコンが表示されません)。

そのほか、電波の送受信などにより、一時的に操作が行えなくなることがあります。その場合数秒から数十秒待って再度操作を行ってください。

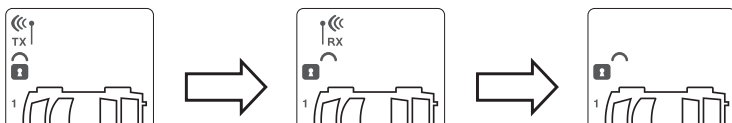
HORNET を解除する(システム OFF)

- 1 システム ON 中、警報が鳴っていない時にリモコンの  ボタンを1回(1秒ほど)押してください。クリックトーン® が2回“ピッピッ”と鳴ってシステム OFF します。

※システム OFF 時にクリックトーン® が4回鳴った場合には、ダイアグノスティック™ 機能が働いています(P.32)。

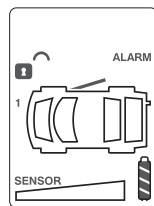


- 2 画面が以下のように変化し、送信、受信を行います。
送信が成功すると“ピッピッ”とリモコンから確認音が鳴り  アイコンが5回点滅します。



警報が鳴った後にシステムを OFF した時

《ドアトリガー® が反応していた場合》



ダイアグノスティック™ 機能が働いている時、警報した全てのセンサーを表示します。

各種センサーアイコンは、 アイコンが5回点滅後消灯します。

パニックモード(強制サイレン)

リモコンの  ボタンを、約2秒以上押し続けると HORNET はパニックモードとなり、設定した警報時間分警報が鳴り続け、システムは ON 状態となります。

緊急時や周囲に異常発生を知らせたい時などに便利です。

途中で警報を止めたい場合には再度  ボタンか  ボタンを1秒ほど押してください。(システムは ON 状態になりません。)

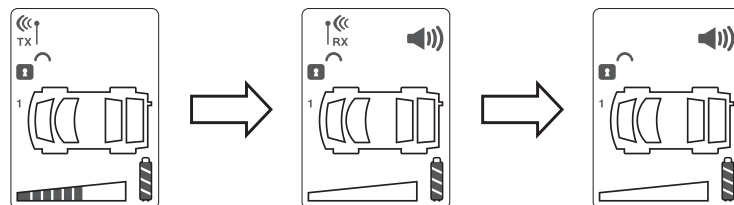
- 1  ボタンを2秒以上押し続けます。

- 2 強制的に警報を鳴らすことができます。



画面が以下のように変化し、送信、受信を行います。

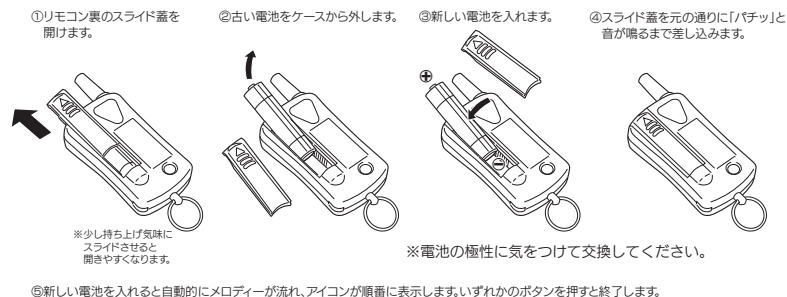
送信が成功すると“ピッ”とリモコンから確認音が鳴り  アイコンが一定時間点灯します。



途中で警報を止めたい場合にはパニックモード中に  ボタンか  ボタンを1秒ほど押してください。

リモコン電池の交換方法

リモコンの電池が消耗してきた場合電池を交換してください。
対応する電池は単4形アルカリ電池です。



⚠ 注意

- 交換の前に、あらかじめ金属部分などに触れて静電気を除去した、乾いた手で取り扱ってください。
- ケース内部へは絶対に水や油、ほこり等が浸入しないように十分注意してください。
- 対応する電池は単4形アルカリ電池です。指定の電池以外は使用しないでください。

電池残量表示

リモコンの電池残量に合わせて、電池残量のアイコンが変化します。



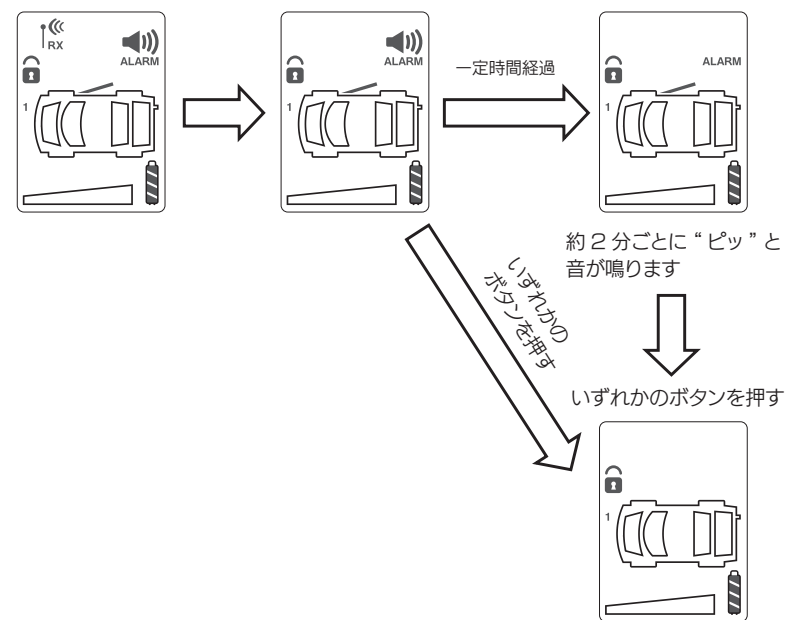
※電池残量が無くなると、電池残量アイコンが点滅し、“ピピピピ ピピピピ”とリモコンから確認音が鳴ります。電池の交換をしてください。

警報の異常通知

本製品は車両に異常があり HORNET が反応した場合、異常内容をリモコンに通知します。警報の異常通知は以下のように行われます。

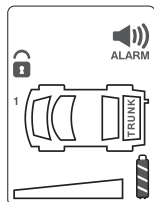
1. 受信すると画面が以下のように変化してリモコンに知らせます。
2. “ピピピピ”とリモコンから5回音が鳴り、反応したセンサーのアイコンが5回点滅します。
3. リモコンの音が鳴り終わると  アイコンが消灯します。異常通知後いずれかのボタンを押さなかった場合は約2分ごとに“ピッ”とリモコンから音でお知らせします。
4. リモコンの音が鳴っている間にいずれかのボタンを押すとリモコンの音が止まります。

通知例：ドアトリガー

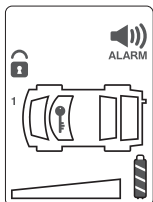


《異常内容の例》

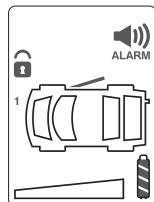
インスタントトリガー



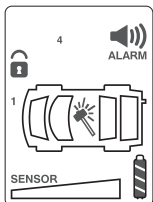
イグニッションONセンサー



ドアトリガー



ダブルガードショックセンサー
(ゾーン4)

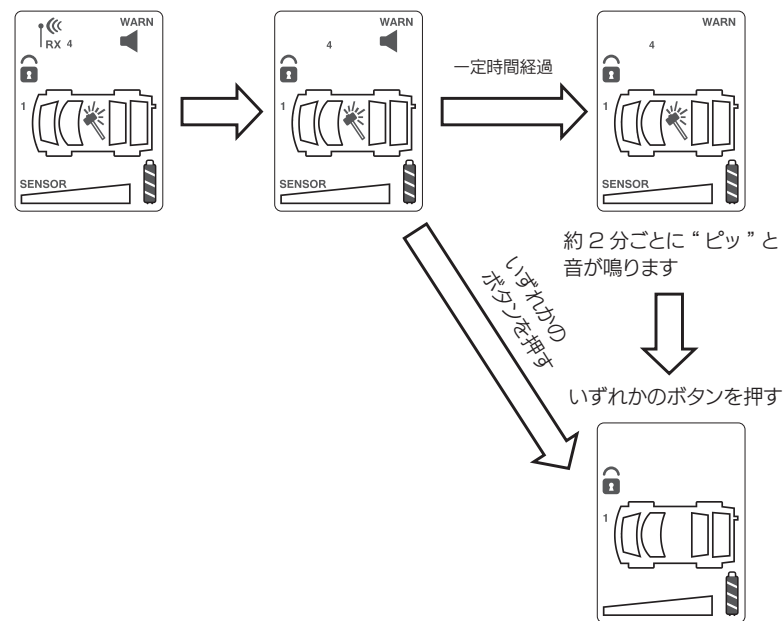


警告の異常通知

本製品は車両に異常があり HORNET が反応した場合、異常内容をリモコンに通知します。警告の異常通知は以下に行われます。

1. 受信すると画面が以下のように変化してリモコンに知らせます。
2. “ピッピッ…… (10回)” とリモコンから音が鳴り、反応したセンサーのアイコンが4回点滅します。
3. リモコンの音が鳴り終わると ▲アイコンが消灯します。異常通知後いずれかのボタンを押さなかった場合は約2分ごとに“ピッ”とリモコンから音でお知らせします。
4. リモコンの音が鳴っている間にいずれかのボタンを押すとリモコンの音が止まります。

通知例：ダブルガードショックセンサー



リモコンの設定について

リモコンのビーブ音／パイプレーションの設定

リモコンのビーブ音を鳴らしたり、パイプレーションをするか設定します。

操作方法

- 1. 約3秒間リモコンの **P** ボタンを押します。
※ **P** ボタンを押す時間が短いと車両番号の変更の操作が行われます (P.28 参照)。
- 2. 「ピー」とビーブ音が鳴り、液晶リモコンの設定モードに入ります。
- 3. **🔊** ボタンを押すたびに設定が変更します。
- 4. 5秒間、何も操作しないと「ピーピー」とビーブ音が鳴り、設定は終了します。

リモコンの設定	設定確認	アイコン表示
ビーブ音	ビーブ音 1回	🔊
パイプレーション	パイプレーション 1回	🌀
ビーブ音とパイプレーション	ビーブ音 1回 パイプレーション 1回	🔊と🌀
なし	長ビーブ音 1回	なし

リモコンのバックライトの設定

リモコンのバックライト (橙色) を点灯するか設定します。

操作方法

- 1. 約3秒間リモコンの **P** ボタンを押します。
※ **P** ボタンを押す時間が短いと車両番号の変更の操作が行われます (P.28 参照)。
- 2. 「ピー」とビーブ音が鳴り、液晶リモコンの設定モードに入ります。
- 3. **💡** ボタンを押すたびに設定が変更します。
バックライトを点灯する場合、「ピッ」とビーブ音が鳴り、バックライト (橙色) が点灯します。
バックライトを消灯する場合、「ピッピッ」とビーブ音が鳴り、バックライト (橙色) が消灯します。
- 4. 5秒間、何も操作しないと「ピーピー」とビーブ音が鳴り、設定は終了します。

異常通知の設定

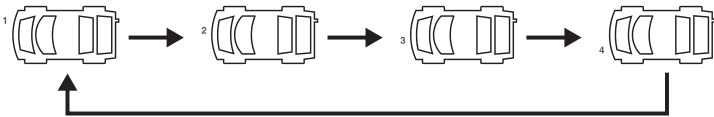
HORNET の警告／警報時の異常通知設定をします。

操作方法

- 1. 約3秒間リモコンの **P** ボタンを押します。
※ **P** ボタンを押す時間が短いと車両番号の変更の操作が行われます (P.28 参照)。
- 2. 「ピー」とビーブ音が鳴り、液晶リモコンの設定モードに入ります。
- 3. **🚨** ボタンを押すたびに設定が変更します。
異常通知をする場合、「ピッ」とビーブ音が鳴ります。
異常通知をしない場合、「ピッピッ」とビーブ音が鳴ります。
- 4. 5秒間、何も操作しないと「ピーピー」とビーブ音が鳴り、設定は終了します。

操作する車両の設定

1つのリモコンを複数の HORNET に登録した場合、操作する際の車両が変更できます。
約1秒 **P** ボタンを押すたびに操作可能な車両が変更されます。



**注意**

ご使用になる車両番号については、必ず取り付けを行った販売店へお問い合わせください。

バレーモード

バレーモードとはシステムが ON にならないようにするモードです。
車検などで車両を預ける場合にセキュリティ機能が必要であれば、このモードに設定してください。



ヒント

- バレーモードは下記操作を行うたびに作動／解除が繰り返されます。
- 点灯した動作確認 LED は、一定時間 (60 分) エンジンを開始しないと、バッテリーを保護するために消灯します。

設定方法は以下の2通りです。

プログラムスイッチを使用してバレーモードへの切り替えを行う場合

【ステップ1】イグニッションキーを ON にしてからすぐに OFF にします。

【ステップ2】ステップ1のあと10秒以内にプログラムスイッチを一度押します。

【ステップ3】動作確認 LED の点灯状態を確認します。

※バレーモード作動：消灯→点灯
解除：点灯→消灯

ドアが開いた状態でリモコンが使用できる車両については下記の方法でもバレーモードの作動／解除が行えます。

【ステップ1】車のドアを開けます。(どのドアでも良いです)

【ステップ2】リモコンを利用してドアをロックします。

【ステップ3】2秒以内にリモコンを利用してドアをアンロックします。

【ステップ4】2秒以内にリモコンを利用してドアをロックします。

【ステップ5】動作確認 LED を確認します。

※バレーモード作動：消灯→点灯
解除：点灯→消灯

ロングタームイベントヒストリー

最新の警報履歴を、動作確認 LED の点滅によって過去2回までさかのぼって確認できます。

1 イグニッションキーが OFF の状態でプログラムスイッチを押し続けます。

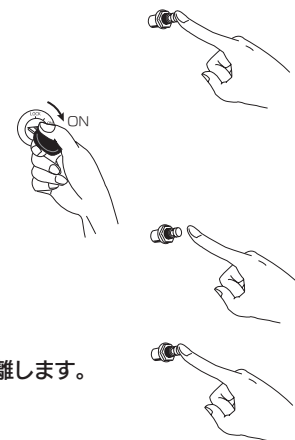
2 イグニッションキーを ON にします。

3 プログラムスイッチを離します。

4 5秒以内にプログラムスイッチを押して離します。

5 新しい順に過去2回までさかのぼり、動作確認 LED の点滅回数で警報履歴を確認できます(ゾーン ID / P.33 参照)。

6 60秒経過するか、イグニッションキーを OFF にすると動作確認 LED は消灯します。



本ページはセキュリティ性に関わる内容を記載しているため、ダウンロードサービスでは省略させていただきます。

ダイアグノスティック™ 機能

動作確認 LED やクリックトーンによって、センサーが異常を検出して警報した場合に最後に反応したセンサー (2 回分) を表示することができます (ダイアグノスティック™ 機能)。

クリックトーンやライトフラッシュの回数により、発報の有無などの確認が行えます。また、半ドアやセンサーが反応した状態でシステムを ON にした場合には、確認音が鳴ることでレポートを行います (センサーレポート機能)。

操作	レポート内容	動作確認音	ライトフラッシュ
システムON	システムON	ビッ	1回
システムON	半ドアやセンサーが反応した状態でシステムON	ビッ 約2〜3秒後 ビッ	1回
システムOFF	システムOFF	ビッビッ	2回
システムOFF	警報が鳴った後にシステムOFF	ビッビッビッビッ	3回
システムOFF	NPCが働いている状態でシステムOFF	ビッビッビッビッビッ	3回

動作確認 LED の点滅回数により、センサーの反応状態の確認が行えます。

システムの状態	動作確認 LED の状態
システム作動中	通常点滅 (1 回点滅)
半ドアやセンサーが反応した状態でシステム ON	30 秒間、反応しているゾーン ID 数点滅、その後通常点滅
警報中	反応したゾーン ID 数点滅
警報終了後	60 秒間、反応したゾーン ID 数点滅、その後通常点滅
ハイセキュリティ解除時	通常点滅 (1 回点滅)
警報があった後にシステム OFF	最後に反応した 2 回分のゾーン ID 数を交互に点滅

ゾーンID一覧

各センサーやトリガーには、それぞれ固有のゾーンIDが割り当てられています。

ゾーンID	センサー／トリガー	反応内容
1	インスタントトリガー	オプションセンサーが働いた
3	ドアトリガー	ドアが開けられた
4	ダブルガードショックセンサー	強い衝撃が加えられた
5	イグニッションONセンサー	エンジンが始動された



ヒント

ダイアグノスティック™ 機能のリセット

システムOFF中にイグニッションキーをONするとダイアグノスティック™機能はリセットし、動作確認LEDは消灯します。



注意

ダイアグノスティック™ 機能は、最後に異常を検出した2回分のゾーンに対してレポートします。警報があったすべての原因がわかるものではありません。

インスタントトリガー【ゾーン1】

トランクが開けられたことを検出し、警報を鳴らして威嚇します。トランクに積載されたものを守るために有効です。

また、ボンネットが開けられたことを検出し、警報を鳴らすこともできます（車両によっては別途オプション「ピンスイッチ(8607)」が必要です）。

ドアトリガー®【ゾーン3】

システムON時にドアを開けられたことを確実に検出し、警報を鳴らして威嚇します。



ダブルガードショックセンサー：504D【ゾーン4】

窓ガラスを割られた場合など、車体に加えられる衝撃を強弱2段階で自動判別して、警告または警報を鳴らして威嚇するためのセンサーです。風などの「揺れ」にはまったく反応せず、瞬間的に加わる「衝撃」や「衝撃波」、「振動」のみを検出できます。

※衝撃センサーの性質上、感度を敏感にするほど様々な外的要因（他車の走行振動、航空機の飛行時などから伝わる振動、台風その他）により微振動や衝撃波を検出して犯罪発生時以外にも警報が鳴る場合があります。センサーの特長をよく理解し、ご利用環境や目的によって適切な感度に設定の上ご利用ください。

※本センサーでは傷つけを防ぐことはできません。



イグニッション ON センサー【ゾーン5】

エンジン始動を感知するセンサーです。
システム ON 中に、エンジンをかけようすると警報を鳴らして威嚇します。

※システムを ON してから 1 分以内にイグニッションを ON にすると、システムが OFF になります。



機能設定一覧表 下線が初期設定

メニュー		
ナンバー	リモコンのロックボタン設定	リモコンのアンロックボタン設定
1	アクティブ ON	パッシブ ON
2	クリックトーン ON	クリックトーン OFF
3	ドアトリガーエラー音 ON	ドアトリガーエラー音 OFF
4	なし	なし
5	パニックモード ON	パニックモード OFF
6	なし	なし
7	ドア開け時予備警告機能 ON	ドア開け時予備警告機能 OFF
8	なし	なし
9	サイレンタイム 30秒	サイレンタイム 60秒
10	強制解除入力回数 1回	強制解除入力回数 2 / 3 / 4 / 5回
11	ホーン出力時間 0.02秒	ホーン出力時間 0.03 / 0.04 / 0.05秒



ヒント

機能設定の方法は取付説明書の機能設定方法をご確認ください。

セレクトابلサイレン

犯罪心理学を研究して選ばれた犯罪抑止効果の高い6つの音色で構成されています。音量は最大約128dBで撃退効果は抜群です。

音色は6種類、音量は4段階から選択できます。

※設定方法に関しては、別紙取付説明書をご覧ください。

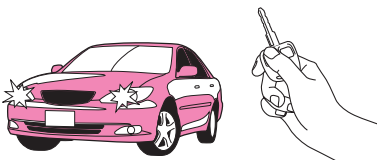
※初期設定は5音色目の音のみ鳴ります。



ライトフラッシュ

システムのON / OFF時、警告時、警報時にクルマのスマートライトを点滅させることで、視覚的にも犯人を撃退することができます。

ピカッ



パワーセーバーモード

パレーモード時、約1時間イグニッションキーをONにしないと動作確認LEDは消灯します。

動作確認LED消灯後、イグニッションキーをONにしてOFFにすると再度、動作確認LEDは点灯します。

レジューム機能

機能設定された内容をバックアップするため、万一電源が切断されてもシステムのON / OFFやパレーモード等の設定内容が残っています。

例：警報中に電源の供給がなくなった。電源の供給が復帰したときに警報します。

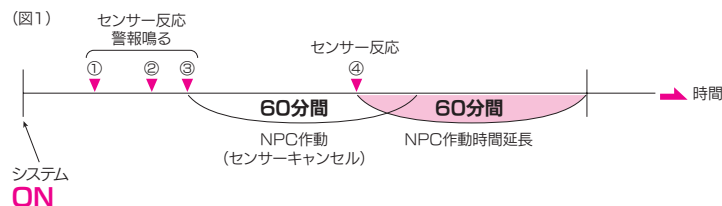
ソフトチャープ

動作確認音や警告などは、警報よりも若干小さい音で行われます。セレクトابلサイレンについている黒色のループ線を切断することで、警報と同じ音量になります。

NPC機能(迷惑防止回路)

近所迷惑などを防止するため、同じセンサーが連続して反応し、警報を鳴らすことを防止できます。

- 同じセンサーが1時間以内に3回警報を鳴らした場合、3回目に警報を鳴らした時点から60分間そのセンサーをキャンセルします。
- NPC作動中、4回目に同じセンサーが反応した場合、その時点からさらに60分間NPC作動期間を延長します。(図1)



NPCをリセットするには？

システムOFF後キーでイグニッションをONの位置にします（エンジンをかけると自動的にリセットされます）。

故障かな？と思ったら

症状と原因	対 策
☆勝手に警報が鳴る - ダブルガードショックセンサーの固定が不十分 - 各センサーの感度が高すぎる - ダブルガードショックセンサーの感度が高すぎる	確実に固定してください。 センサーの感度を絞ってください。 感度を絞ってください。
☆セキュリティを ON した後、数秒後に「ビッ」と鳴る センサーレポート機能が働いている	詳細は P.32 を参照してください。
☆ドアを開けても警報が鳴らない - システムを ON にしてから 5 秒以上待っていない - ドアトリガー線の接続不良	システムを ON にしてから 5 秒以上待つてください。 ドアトリガー線を確実に配線してください。
☆叩いても警報が鳴らない - システムを ON にしてから 5 秒以上待っていない - 車体を揺らしている - 感度が低すぎる - ダブルガードショックセンサーの固定位置が最適でない - NPC 機能が働いている	システムを ON にしてから 5 秒以上待つてください。 揺れには反応しません。 感度を上げてください。 衝撃の伝わりやすい位置に固定してください。 システムを OFF にしてからエンジン始動して NPC を解除してください。
☆イグニッションを ON にしても警報が鳴らない システムを ON にしてから 1 分以上待っていない	システムを ON にしてから 1 分以上待つてください。
☆オプションセンサーが働かない - システムを ON にしてから 5 秒以上待っていない - 感度が低すぎる - テスト方法が違っている	システムを ON にしてから 5 秒以上待つてください。 感度を上げてください。 各センサーに最適なテスト方法でテストしてください。 (オプション付属の説明書参照)
☆セキュリティが作動しない - 動作確認 LED が点灯している - ドアロック学習が正常に終了していない - 黄色線を常時電源に接続している	パレーモードを解除してご利用ください。(P.29 参照) ドアロック学習を行ってください。(取付説明書をご参照ください) 黄色線は必ず IG ON で +12V が供給される線に接続してください。

上記のテストを行っても正しく作動しない場合は取付販売店へお尋ねください。

アフターサービスについて

- 万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。
- 本製品の保証期間はお買い上げの日から 1 年間です。
- 保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理致します。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第修理受付は終了致します。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書について

- 製品には製品保証書を添付しております。ご購入の際には、必ず製品保証書をお受け取りの上、大切に保管してください。尚、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中であっても無効となります。
- シリアル番号は安全確保上重要なものです。お買い上げの際にはメインユニットにシリアル番号が表示されているか、また、保証書記載のシリアル番号と一致しているかお確かめください。

修理を依頼されるときは

- 説明書に記載の「故障かな？と思ったら」(P.39)を参考にして、故障かどうかを確認してください。故障とお考えの前に取付販売店またはお客様サポートセンター (P.41) にご相談ください。お客様サポートセンターへご相談後に検査依頼をされた場合でも、送料はお客様のご負担となります。
- 修理をご依頼の際は、下記事項を確認して取付販売店へご依頼ください。
このとき保証書は必ずご提示ください。

- 1 型式名、型番号、シリアル番号
(例 : HORNET303V 5012204321)
- 2 故障の内容
(どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか、時々かなど)
- 3 お買い上げ年月日
- 4 お買い上げ店名
- 5 お名前、住所、連絡先電話番号

- 修理時に取り外した不良品は品質改善のため、あしからず当方に引き取らせて頂きます。
- 購入店が移転・閉店した場合は、お近くの HORNET 取扱店までご相談ください。
- 当社では製品の検査・修理時の代品貸し出し等は一切行っておりません。また、修理を依頼される際の送料、取り付け・取り外しにかかる工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

● HORNET についてのお問い合わせは……

KATO-DENKI

加藤電機株式会社

お客様サポートセンター

TEL 0569-26-0088

FAX 0569-26-0089

営業時間 月～金 10:00～17:00（祝日、年末年始等は除く）

※お問い合わせの際は、HORNET の型式とシリアル番号を確認させていただきますので
あらかじめご準備ください。



製品仕様

●電源電圧	DC12V
●平均消費電流（待機時）	約16mA（動作確認LED含む）
●平均消費電流（警報時）	約1A
●サイレン音圧	最大約128dB
●使用周囲温度	約-40℃～+85℃
●メインユニット外形寸法	約103×68×34mm
●質量	約120g

《保証規定》

- 1： 本製品は高度の品質管理を致しておりますが、保証期間中に取扱説明書、取付説明書などの注意に従った使用状態で万一故障した場合には保証規定に従い、お買い上げの販売店または当社修理窓口が有償または無償にて保証致します。
- 2： 本製品は持ち込み修理品となりますので、保証期間内に故障して保証をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口にご送付いただく際に発生する送料はお客様のご負担となります。その際には、保証書を必ずご提示ください。保証書のない場合には保証対象外（有償）となります。
- 3： 製品の回収、取り付けの際に伴う諸費用、代車費用、内装新品交換等はお客様負担となります。
- 4： ご転居、ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には当社窓口までご相談いただくか、お近くのHORNET 取扱店へご相談ください。
- 5： 保証期間内でも次の場合には保証対象外（有償）となります。
 - 使用上、取付上の誤り、不注意による故障および損傷
 - 不当な修理、改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下、水分、油分の浸入、冠水、熱、異常電圧による故障および損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、ガス害その他天変地変、公害、塩害などによる故障および損傷
 - 自動車事故により発生した故障および損傷
 - 消耗品（電池、各部ゴム、テープ、ヒューズなど）の交換
 - リモコン増設の場合
 - 本保証書のご提示がない場合
 - 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名等の所定の記入事項が未記入、不明確あるいは文字を書き換えられた場合
 - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
- 6： 保証規定は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

この保証書は、本書に明示した、期間、条件のもとにおいて無償保証修理をお約束するものです。従ってこの保証規定によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間を過ぎている場合は、修理できる製品については、ご希望により有償で修理させていただきます。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第、修理受付は終了致します。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
ご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

発売元

KATO-DENKI

加藤電機株式会社 〒475-8574 愛知県半田市花園町6-28-10

GI-S136-1